

南極から附中へ

南極観測隊員のつぶやき

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校
校長通信 第33号 令和2年6月3日



○南極観測の乗り物(part2/3 小型ヘリコプター)

・南極観測隊員が使用している乗り物の第2回は、小型ヘリコプターについてです。オーストラリアでチャーターする民間機です。機種はユーロコプター社製のASです。世界で最もメジャーなヘリコプターの1つです。機構が比較的単純なため、南極でもパイロットと整備士の2名で運行ができます。パイロットを含めて、定員は6名です。機体が軽量のため、海氷上や氷河の上にも着陸することができます。陸上での移動も車輪を付ければ、人力で簡単に移動させられます。エンジンのスタート・カットも容易で、数時間の観測であれば、近くで待機してもらうことも可能です。



・ASのようなフランスやドイツ製のヘリコプターのメインローターの回転方向は上から見て時計回りです。それに対し、前回のCH-101のようなイタリアやアメリカ製のヘリコプターは反時計回りに回転します。ダウンウォッシュなどの影響を考慮して、時計回りのヘリコプターは左側から搭乗し、反時計回りのヘリコプターは右側から搭乗します。ヘリコプターに搭乗する機会があったら搭乗する側とメインローターの回転方向をパイロットに聞いてみてください。



・最後の写真はNHKが持ち込んだ8Kテレビカメラです。めっちゃデカいです。すでに放送済みらしいですが、我が家には普通のデジタルテレビしかないためまだ見ていません。別番組で「ダーウィンが来た」も放送されました。生物関係の番組のため、残念ながら私は出演していません。

